

つ 津みらい

いわわき けいいち
岩脇 圭一

録画映像



問 施政方針における「安心の未来」 についての取り組みは

施政方針における自然災害の不安から市民を守る、より高いレベルの安心を確保するための新しい取り組みとして、災害用トイレトレーラーが導入される。市内での活動にとどまらない全国の被災地への派遣、他の自治体との連携による応援体制、平時の活用は。また、災害関連死のリスクを減少させるには各避難所の衛生環境向上が求められるが、現状と改善に向けた取り組みの方向性は。

答 トイレトレーラーの活用や避難 所生活の質の向上に取り組む

トイレトレーラーは、市内で災害が発生した場合、拠点となる避難施設等でトイレ環境の確保に活用し、市外で発生した場合は災害対応車両登録制度や当該車両の保有自治体等のネットワークを通じた応援要請に応える。平時は、防災意識の醸成を図るために地域の防災訓練などで活用する。

また、避難生活の長期化による疲労、ストレスなどに起因する衛生環境の悪化により、災害関連死のリスクが高まるとされることから、避難所における感染症等の予防、備蓄品の確保とともに、災害対応マニュアル等を見直し、衛生環境の向上、避難所生活の質の向上に取り組む。

その他の質疑・質問

- 議案第39号 令和8年度津市一般会計予算
 - 次期総合計画の策定に向けた考えおよび若者・こどもの意見を取り入れる方策は
 - 観光誘客の新たな取り組みや県との連携は
- 公民連携に関する提案・相談窓口の現状は
- 公民連携推進を担う職員の意識醸成、手法に関する知見を養うための研修の在り方は

▶
今後、市内外で活用が期待される災害用トイレトレーラー。平時のイベントでも活用される



しせいやくどう
市政躍動

おくの えいさく
奥野 栄作

録画映像



問 「ミチセキアワード2025」大賞 受賞について問う

国が国土強靱化実施計画中期計画を策定し、津市においても、国土強靱化地域計画が改訂された。そのような中、社会のインフラ政策である地籍調査について、津市は、国土交通省が新たに創設したミチセキアワードにおいて、大賞を受賞したが、ミチセキアワードとはどのようなものか。また、津市のどのような取り組みが評価されたのか。

答 地域の協力を得て、初代大賞を 受賞することができた

ミチセキアワードは、令和7年度に国土交通省が創設したもので、地籍調査に熱心に取り組み、全国の模範となったとして、津市が初代大賞を受賞した。津市の地籍調査の進捗率は、平成18年の市町村合併当時、1.32%と極めて低かったが、地域の声や専門家の意見を聴きながら、津市地籍調査事業計画を策定するなどして、平成27年には2.81%に、その後、地籍調査に係る職員数および予算を拡充し、令和7年度末現在は6.27%まで進捗した。さらに、国が推奨する最先端の地籍調査や実証実験を行ったこと、地域の協力を得て調査が加速化したことが、今回の大賞受賞につながった。

その他の質疑・質問

- 国道368号(下太郎生地区)の道路改良事業について
- 津香良洲大橋の耐震化について
- 雲出川水系波瀬川の整備について
- 漁港の航路しゅんせつについて
- 空き家および空き地への対応について
- 美杉地域の今後の地域づくりについて

▶
国道368号(下太郎生地区)狭あい部の状況

